

社会民主党機関紙

山口県版

社会新報

THE SHAKAI SHIMPO

2018年7月

(曜日)号外

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ樓本ビル5F
電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3203
●定価180円 ●1ヵ月700円 ●送料164円

社民党山口県連合第24回定期大会

2018年運動方針など決定

社会民主党山口県連合は2018年6月30日(土)、山口市「小郡ふれあいセンター」で第24回定期大会を開催し、2017年党務報告・会計報告・会計監査報告を承認したほか、2018年運動方針・予算を可決した。2年に一度の役員改選も行われ全役員が再任された(下写真)。任期2年。



大会では下関支部から大会議長を選出。来賓の連合山口網戸茂会長、山口県平和運動フォーラム榎本康仁議長、部落解放同盟河口泰司書記長、小沢克介顧問弁護士からあいさつを受けたのち、党務・会計・会計監査についてそれぞれ報告があり、いずれも承認された。議事では、2018年運動方針(案)と2018年予算(案)が提案・可決された。2年に一度の役員改選では現役員を全員再任し、大会宣言が採択されたのち、佐々木代表(再任)を先頭に「団結頑張ろう」を全体で三唱して閉会した。議事に対する質疑の主な内容は次のとおり。

代議員／来年の参院選に向けたポスターは、生活感がなく票が取れるものになっていない。今までどおりのやり方では今までどおりの票しか取れない。健康や「食」、農業は介護・医療に通じる問題なのに、それに対する社民党の政策が見えてこない。健康志向や有機農法に間口を広げた政策を訴えることによって切り口が変わる。農業政策の転換を図ることをとりあげてほ

発言・行動で動かそう

佐々木明美代表あいさつ

山口県知事の姿勢は安倍政権べったりだが、社民党は、働く人・弱者と言われる人の代弁者にならなければならない。発言し、行動しなければ世の中は動かない。党員の皆さんの団結・連帯で「社民党ここにあり」という内容の大会になることを祈念したい。党員の皆さん、健康に気をつけて頑張ろう。

しい。

執行部／ポスターの変更は難しいが、農業政策は訴えたい。有機農法による農業については、大会での意見や学者の意見も参考にして県議会農林水産委員会で県の考えを質したい。

代議員／①若い人は社民党のことを知らない。社民党が中心となって他の市民団体と一緒に、若者との対話の場、将来の夢や労働問題などを語り合う場を参院選までにつくる必要がある。②子どもへの虐待に対して「子どもを守る社民党」をキャッチフレーズとして活動する必要がある。③県議会で県知事に答弁を求めているのに知事が答弁しないのは問題だ。

執行部／①若者との対話、特に労働問題については直ちに開くようにしたい。また、社民党の又市征治新党首からは「テーマ・参加者数

にこだわらずに各県で集会を開いてほしい」と要請されており、実現に向けて県連合幹事会で協議したい。②子どもへの虐待については、相談5,000件・虐待500件に対応する児童相談所の職員が少ない上に専門性がないことが一番の問題だ。③今県議会では佐々木県議が食い下がってようやく知事が答弁したが、上関・岩国基地・イージス-アショアについては「国の政策」を理由に抽象的にしか答弁しようとしなない。一方では、「議会改革」の名の下に質問時間が45分から30分に削られた。

社民党県連合大会 来賓あいさつ

■連合山口 網戸茂会長

政策制度要求の取り組みに対する各議員の活動にお礼する。底上げ春闘3年目の今年は中小組合の多くが大手を上回り、相当数の組合で働き方改革の成果を勝ち取った。国会で成立した高度プロフェッショナル制度については状況を見守りたい。一人一人が自分の問題として政治を見極めなければならない。政権の不祥事にもかかわらず安倍政権は30%を超える支持率を得ており、野党は丁寧な説明が必要だ。参院選・統一自治体選挙では推薦候補・議員の全員当選を果たす。社民党と連携して運動を前進させたい。

■山口県平和運動フォーラム 榎本康仁議長

県フォーラムに対する社民党県連合の支援にお礼申し上げる。萩のイージス-アショアについては、秋田県フォーラムと連携して防衛省と交渉し、中央フォーラムも含めた防衛省交渉も行った。6月の地元説明会での防衛省・中四国防衛局の説明は「遮蔽のない所に造る」とする一方で「電磁波は上空に向けて」とするなど矛盾だらけだ。11月には現地で反対集会を開く。平和があってこそ組合は当局と対等に交渉できる。安心して暮らせる日本をつくるために頑張る。真摯な議論、団結できる方針を確認してほしい。

■部落解放同盟 河口泰司書記長

佐々木県議勇退のあとの議席を守るためにしっかりとたたかう。2006年に人権三法（部落差別解消法、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法）が施行されたが、若い人はインターネットから情報をとり、間違った情報がばらまかれる。通報によって差別的サイトはどんどんなくなっているが、部落地名総鑑がネットで広がり、出版の動きすらある。こうした事態に対して市町村ではモニタリングで監視する取り組みも始まっている。教育の場で人権教育をしっかりとやっつけよう。

■小沢克介 顧問弁護士

法律相談を担当することになった。平和・民主主義・労働者の立場に一貫して立っている社民党に敬意を表する。雇用安定は労働基準法の柱の一つだが、小泉・竹中の規制緩和で雇用安定が崩され、今国会の高度プロフェッショナル制度導入で労働時間規制もはずされて労基法の柱がまた一つ崩された。高プロの対象範囲は政令に委ねられており、何とかしないとイケない。朝鮮学校への補助金再開に関連して弁護士全員に懲戒請求するというとんでもない動きもある。

大会宣言

私たちは本日、第24回定期大会を開催しました。

安倍首相は、1月4日の年頭記者会見で「戌年は次なる新しい希望が生まれる年だ。今年こそ、憲法のあるべき姿を国民にしっかり提示したい」と述べるなど、昨秋の総選挙で自民党・公明党の与党が3分の2議席を超え、8割に達した改憲勢力を背景に、森友・加計学園問題などを虚言・妄言・詭弁を弄して乗り切ろうとしており、憲法改「正」発議・国民投票に向けた動きを諦めていません。

安倍政権発足以降、防衛費は6年連続増額し、来年度予算案では5兆1,911億円と過去最大を更新しています。米朝首脳会談が実施され、北朝鮮とアメリカの平和への外交の歩みが見えつつある中で、陸上配備型の迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」を、萩市むつみ地区に配備しようとしています。

一方で、岩国基地が極東最大のアメリカ航空基地になっています。

「経済の好循環が着実に回り始めた」（経済白書）と言われ、全産業の経常利益は過去最高を記録し、企業の内部留保金も過去最高の406兆円に達しています。しかし、世論調査でも明らかなように「景気の回復を実感できない」のが現実です。

その大きな要因は雇用と賃金（所得）が回復せず、むしろ不安定になり悪化していることにあります。高い「有効求人倍率」が強調されていますが、高いのは賃金の低い分野での人手不足にあり、求人しても集まらないためです。

生活保護世帯は過去最高を記録し、164万2,273世帯（2017年12月）を数え、65歳以上の高齢世帯の生活保護世帯はこの10年更新を続けています。

また、社会的な富の第一次配分による国民所得の低下に加え、税や社会保障による所得の再配分機能が著しく後退していることが、貧困と格差の拡大を進めています。

こうした情勢のもと、「憲法25条・27条」など生存権を保障させる取り組みが課題です。働く仲間とともに春闘や非正規雇用の解消、最低賃金の引き上げなどの取り組みを進めるとともに、諸団体と連携し医療や介護、年金などの社会保障の改善を求める取り組みをしていかなければなりません。

来年は、下関市議会議員選挙、統一自治体選挙での県議会議員選挙、宇部市議会議員選挙、夏には党の存亡をかけた参議院選挙が行われます。昨年の大会からの一連の各地域・職場での闘い、党員一人ひとりの努力が報告され、交流し学び合うことができました。この交流の成果をもとに、選挙戦を勝利するための体制を県民とともに構築しなければなりません。

私たちは内向きにならず、県民のくすぶる怒りの火種を炎にしていかなければなりません。県民の信託に応え得る党へと成長し、大会で得た教訓をそれぞれの場で生かし、前進しよう。

以上、宣言します。

2018年6月30日

社会民主党山口県連合第24回定期大会

又市党首講演会

10月20日(土)午後から宇部で開催する方向で全国連合と調整中です。詳細は別途通知します。

社民党山口県連合役員（2018年～2019年）

代表	佐々木明美	宇部支部	幹事	吉鶴 猛	新南陽支部
副代表	山下 隆夫	下関支部	幹事	原田 正	山陽小野田支部
副代表	小林 雄二	徳山支部	会計監査	川上 和恒	宇部支部
幹事長	中嶋 光雄	山陽小野田支部	会計監査	藤野 文彦	防府支部
副幹事長	宮本 輝男	宇部支部	規律委員	平岩 泰知	下関支部
幹事	斉藤彦四郎	山口支部	顧問	青木 岩夫	防府支部
幹事	松江 和男	玖珂支部			

2019年統一自治体選挙のお知らせ

6月末に開催した社民党県連合第24回定期大会後の第1回県連合幹事会で2019年統一自治体選挙の公認・推薦候補を次のとおり確認しました。党員の皆さんは今後の取り組みに対する積極的なご協力をお願いします。

■下関市議選

山下隆夫

社民公認

現職4期

2019/1/27(日)告示

2019/2/3(日)投票

■山口県議選

中嶋光雄

社民推薦

現職1期

山陽小野田市選挙区

2019年4月実施予定

■山口県議選

宮本輝男

社民推薦

新人（現宇部市議3期）

宇部市選挙区

2019年4月実施予定



佐々木明美県議、勇退

現在8期目の山口県議会議員の任にあたる佐々木明美県議が来年4月の任期満了に伴って勇退し、現宇部市議会議員の宮本輝男さんが佐々木県議の議席を引き継ぐ決意を固めています。来春の県議選まで残すところ8カ月弱。佐々木県議のますますのご活躍を期待し、宮本輝男さんの必勝をめざしてともに頑張りましょう。

市民連合@やまぐち2018総会&講演会

日時：7/22(日)14:00～16:30（開場13:30）

場所：カリエンテ山口（山口市湯田温泉）

参加費：500円

講演：伊波洋一参議院議員

「沖縄のたたかい～野党共闘とオール沖縄～」

当日参加できます！

問い合わせ先：090-9466-0899（大久保）

「市民連合@やまぐち」は市民と野党の共闘をもっと発展させることをめざす組織です。